

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Tsuda-Machi-smileKIDS		公表日	令和 8 年 4 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 運 営 体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		一人ひとりに合わせて訪問先やご家庭でも取り入れやすい教材を今後も検討していきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		利用希望の方が増えており、訪問支援員の確保が必要です。保護者様、お子さまのニーズにそった支援ができるよう、体制を整えています。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が参画しております。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価表をもとに、次年度の支援の改善を行っていきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援会議を適宜開催しております。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後外部評価を受けることを検討しています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修を定期的で開催しております。また、専門分野への外部研修、地域支援力アップセミナーにも参加しています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		契約時アセスメント、年一回アセスメント、定期的なモニタリングの実施、毎日のケース記録を基に支援会議にて課題を整理し、支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員が支援会議に参加し、課題の抽出と計画作成に関わっております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		利用者様、訪問施設のアセスメントをもとに作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員一同共通理解のもと、支援に取り組んでおります。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを用いて行っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		相談支援事業所によるサービス等利用計画書、担当者会議、また事業所によるアセスメント（聞き取り）等をもとに、利用者様に必要な項目の選択、利用者様に応じた目標立案し、計画書（支援内容）を作成しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員一同共通理解のもと、支援に取り組んでおります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		多職種連携を実施する際は、職員間で支援内容について確認をしております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援前、支援後に情報共有を行っています。また、多機能型である児童発達支援事業所の職員にも共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針等を理解し、尊重した支援となるよう心掛けています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回訪問後に記録をとり、支援の検証、改善に努めています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング期間に合わせ、個別支援計画書の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しております。必要に応じて児童指導員等も同席しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		一人ひとりに合わせて、必要な関係機関と繋がり、連携体制を整えています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		令和7年度開所なので、まだ行っていません。多機能型であるため、児童発達支援事業所を併用しているお子様には、例年引継ぎシートを記入しています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門分野への外部研修、地域支援力アップセミナーに参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		参加していません。今後検討していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳やコドモンを活用し、事業所からは利用時の様子を文章や写真でお伝えし、保護者様からは家での様子を記入していただいております。また、電話連絡にて直接お伝えすることもございます。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアレントトレーニング等、保護者向け講習等は行っていません。(今後検討していきます)
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明書を用いて行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先が保育所等訪問支援を知らない場合がありますので、丁寧な説明を心掛けています。ご理解いただけるよう努めています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		適宜、面談等を実施し利用者様、保護者様のニーズ確認を行い、個別支援計画作成時に反映しております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援管理責任者が直接説明もしくは、お電話でご説明させていただき、同意のもと支援しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		随時行っています。保護者面談についても随時可能です。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		多機能型であるため、児童発達支援事業所にて、令和7年度は定期的に参観日を行っていました。今後も継続して月に1~2回の参観日に保護者様同士の集まりの場を提供していきたいと考えています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。また、法人全体にて第三者委員会を開催しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の活動・行事予定については連絡帳を活用しています。令和7年度は毎月コドモンで写真と一緒に様子をお伝えしていました。今後、Instagram、ホームページの充実を図っていきます。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人名、個人情報が記載されている書類につきましては、鍵付きの書庫に保管しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様には絵カードを用いて視覚的に伝わりやすくしています。保護者様には日々の連絡帳や、直接確認すべき事項については速やかに電話連絡を行っています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先のニーズを聞き取る時間を設ける等、ニーズに合わせて対応ができるよう、今後も支援体制を整えていきます。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先に合わせて時間や方法を調整しながら行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		実施後は、コドモン（連絡帳）を通して、支援内容や園・学校での様子を共有しています。必要に応じて電話連絡も行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		訪問先施設、対象児以外についても個人情報の取扱いは周知徹底しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		一方的な助言ではなく、情報共有を大切にしながら、関係構築を行っています。OT、ST等の専門職の訪問を実施することで、専門的な支援も行っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの作成を行っています。訪問先施設の避難訓練と一緒に参加することや、職員の訓練は実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		策定しております。全職員への周知を図り、安全計画に準じて適宜研修やマニュアルの確認、安全管理の徹底を図っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例については毎月会議を開催し事例内容及び支援方法を確認、検討を行い会議録にて職員全員回覧しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内研修として虐待防止の研修を開催し受講しています。また、県主催の研修も毎年受講しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		当事業所ではいかなる場合も身体拘束を行っていません。	